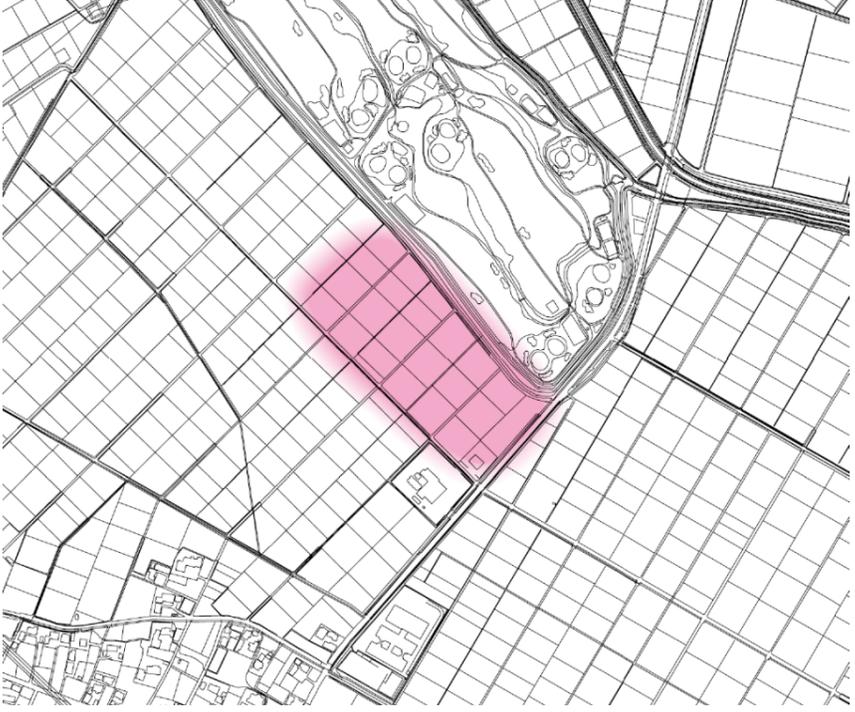


建設候補地カルテ

写

所在地	鴻巣市安養寺・郷地	
位置		

基本的条件への適合性	適合状況	評価
1 必要とされる面積の確保		
1-1. 必要とされる面積の確保	敷地面積: 約6ha 用地形状はほぼ矩形であり、施設のレイアウトが容易である。	◎
2 現況の土地利用および将来の開発		
2-1 現況の土地利用への影響	現況は水田となっている。	△
2-2 将来の開発計画への影響	候補地においては、市街地再開発事業、地区計画及び土地区画整理事業のいずれも計画されていない。	◎
2-3 周辺の土地利用状況への影響	市街化調整区域にあり用途地域の指定はない。農用地区域内にある。非農地(ゴルフ場)及び公共施設(農業集落排水施設、カントリーエレベーター)に隣接している。	○
2-4 集団的な農地への影響	農業振興地域内にあり農用地区域(青地)に指定されているが、非農地(ゴルフ場)に接している。	△
3 利便性		
3-1 施設の位置	3市の地理重心から3km以内に位置する。	◎
3-2 幹線道路との近接性	幹線道路に接している。(県道308号内田ヶ谷鴻巣線)	◎
3-3 搬入車両の通行	2車線以上の道路に面している。(県道308号内田ヶ谷鴻巣線)	◎
3-4 交通渋滞の防止	県道77号行田蓮田線→県道308号内田ヶ谷鴻巣線、国道17号線→県道308号内田ヶ谷鴻巣線、県道313号北根菖蒲線→県道308号内田ヶ谷鴻巣線、市道等を使用することにより車両の分散が図れる。	○
4 環境への影響		
4-1 自然環境への影響	候補地内に巨樹・巨木林や自然度の高い植生、鴻巣市条例に基づく保護樹木及び保護地区は存在しない。また、鴻巣市内に自然公園、自然環境保全地域等の指定地域は存在しない。	◎
4-2 住環境への影響	候補地の近傍(約200m以内)に住宅地、集落は存在しない。	◎
4-3 特に配慮が必要な施設への影響	特に配慮が必要な施設は、候補地から50m圏内に存在しない。	◎
4-4 災害の影響	綾瀬川活断層からは300m以上離れている。 洪水ハザードマップでは、荒川については浸水深1.0m~2.0m未満又は2.0m~5.0m未満、利根川については浸水深2.0m~5.0m未満の区域となっている。 地震ハザードマップ(揺れやすさ)では震度5強~6弱、液状化危険度は極めて低い地域となっている。	○
5 法的制約		
5-1 法的な制約条件	候補地は河川区域・河川保全区域に含まれていない。鴻巣市内に保安林は存在しない。	◎
5-2 文化財への影響	候補地内に史跡・名勝・天然記念物は存在しない。また、周知の埋蔵文化財包蔵地も存在しない。	◎
6 経済性		
6-1 建設コスト	新たな搬入道路整備の必要は無い。地盤条件は標準例と同程度と考えられる。東京電力埼玉変電所からの距離は3km以内であり、新たな工事負担金の発生は予想されないと考えられる。	○
6-2 インフラ状況	候補地は公共下水道(汚水・雨水)の計画区域に含まれていない。上水道については、給水区域に含まれる。	△

留意事項等